

県民の皆さんとめざす姿

県と市町が連携した魅力と活力ある地域づくりの推進に向けた取組により、さまざまな地域課題が解決されて、県内各地域での活性化が進んでいます。

現状と課題

- 社会の枠組みが変化し、地域の多様性や自主性が重要となる中、地域ではさまざまな課題に的確に対応することが求められており、県と市町が連携して地域課題の解決に向けて取り組んでいく必要があります。
- 過疎・離島・半島地域等においては、依然として人口流出や高齢化の進展、地域経済の停滞が深刻な状況にあり、住み慣れた地域で安心して暮らしていけるよう地域づくりを進めていく必要があります。
- 特定地域については、関係機関との連携のもと、時代の変化への対応もふまえ、地域のニーズに合った振興を図っていく必要があります。
- 宮川流域においては、流域圏づくりとして宮川流域ルネッサンス事業に取り組んでおり、地域課題の解決に向け、引き続き広域的な観点から地域と協働した取組が必要です。

変革の視点

社会の転換期を迎える中、特色ある地域資源や人びとの知恵、能力などを活用して地域の魅力や価値を高めていくことが重要となっているため、住民に最も身近な自治体である市町と広域的な自治体である県が一層、連携することにより、活力に満ちた地域社会の形成に向け、地域の特性や実情に応じた地域づくりを推進していきます。

平成 27 年度末での到達目標

県と市町の連携が一層強化されることにより、各地域の特性に応じた地域資源の活用や地域課題の解決が図られるなどの成果が出はじめています。

県民指標

目標項目	現状値	目標値	目標項目の説明
県と市町の連携により地域づくりに成果があった取組数(累計)	18 取組 (22 年度)	72 取組	「県と市町の地域づくり連携・協働協議会」において特定の地域課題を解決するために検討会議を設置して取り組んだ結果、成果があった取組数

平成 24 年度 of 取組方向

- ① 「県と市町の地域づくり連携・協働協議会」の取組等により、住民に最も身近な自治体である市町との連携を強化して、地域・市町の実情に応じた地域づくりの支援等に取り組めます。
- ② 過疎・離島地域等の自立促進に向けて「三重県過疎地域自立促進計画」および「三重県離島振興計画」の着実な実現に努めるとともに、市町と連携して地域・集落の活性化に取り組めます。
- ③ 大仏山地域、中勢北部サイエンスシティ等の特定地域において、関係機関との連携により土地利用の検討や企業誘致の支援を進めます。
- ④ 木曾岬干拓地については、当面の利用に向けた整備を進めるとともに、将来の都市的土地利用方策の検討を進めます。
- ⑤ 宮川流域圏づくりについては、「宮川流域ルネッサンス協議会」に参画し、宮川流域の保全・再生に取り組むとともに、地域が主体的に取り組む地域の資源を生かした個性豊かで活力ある地域づくりを促進します。

## 主な事業

### ① 地域づくり調整事業（政策部）

【基本事業名：25501 市町との連携・協働による地域づくり】

予算額：(23) 65,331千円 → (24) 38,745千円

事業概要：県と市町で構成する「県と市町の地域づくり連携・協働協議会」において、地域づくりの課題解決に向けて地域・市町の実情に応じた地域づくりの支援に取り組みます。

### ② 地域活性化支援事業（政策部）

【基本事業名：25502 過疎・離島・半島地域の振興】

予算額：(23) 26,145千円 → (24) 28,250千円

事業概要：県と市町が連携した魅力と活力ある地域づくりの推進に向けて、市町が行う住民の身近な生活課題を解決するための取組や、市町と連携して行う地域課題を解決するための取組に対して支援します。

### ③ 木曾岬干拓地整備事業（政策部）

【基本事業名：25503 特定地域の活性化】

予算額：(23) 894,920千円 → (24) 1,000,511千円

事業概要：木曾岬干拓地におけるわんぱく原っぱの当面の土地利用の整備、環境影響評価事後調査、排水機場等の維持管理・修繕等を実施するとともに、これまでの調査結果をふまえて将来の都市的土地利用についての検討を進めます。

### ④ 宮川流域圏づくり推進事業（政策部）

【基本事業名：25504 宮川流域圏づくりの推進】

予算額：(23) 9,633千円 → (24) 7,224千円

事業概要：宮川流域の地域課題に対応するため、「宮川流域ルネッサンス協議会」に参画するとともに、宮川地域の保全・再生や地域が主体的に取り組む地域の資源を生かした個性豊かで活力ある地域づくりを促進します。